

都城工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	英語 I
科目基礎情報					
科目番号	0008	科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	機械工学科	対象学年	1		
開設期	通年	週時間数	2		
教科書/教材	My Way (Communication English I) (三省堂) 978-4-385-72730-1, My Way (Communication English I) Workbook (三省堂) VITAL 3000 英単語・熟語 (文英堂) 978-4-578-27104-8 Power On (Communication English I) Worbook (東京書籍) WORD MEISTER 3000 英単語・熟語 (第一学習社) 国際標準図書番号(ISBN): 978-4-8040-1552-1				
担当教員	宮沢 幸				
到達目標					
1) 教科書のストーリーを、英語らしい発音で声に出して読めるようにする 2) 教科書で学習した重要語句と重要文法事項を正確に理解できる。 3) 英文多読を通して、簡単な英語の絵本程度は読めるようになる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安 A	標準的な到達レベルの目安 B	最低到達レベルの目安(可) C	(学生記入欄) 到達したレベルに○をすること。	
評価項目1	予習・復習に加え、自分なりの目標も決めて、英語学習を着実に進める習慣が身に付いている。	予習・復習を中心に、しっかりとした英語の学習習慣が身に付いている。	予習・復習に少しは取り組むことができる。	A ・ B ・ C	
評価項目2	教科書のストーリーで学んだ英語の重要語句・文法事項を他の英文の理解にも応用できる。	教科書のストーリーを、英語の重要語句・文法事項を含め、ほぼ理解できる。	教科書のストーリーの内容を少しは理解できる。	A ・ B ・ C	
評価項目3	教科書のストーリーを、CDの音声に合わせて、十分に英語らしい発音で声に出して読む練習ができる。	教科書のストーリーを、CDの音声に合わせて、英語として通じるレベルの発音で声に出して読む練習ができる。	教科書のストーリーを、CDの音声に合わせて、声に出して読む練習ができる。	A ・ B ・ C	
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 3-1 学習・教育到達度目標 3-3					
教育方法等					
概要	1) 教科書に収録されている様々な題材のストーリーの内容を学ぶことによって、正確な読解力を身に付け、重要語句や重要文法事項を習得する。				
授業の進め方・方法	1) 英語のプリント専用ファイルを準備し、きちんと整理しておくこと。 2) 指示された予習・課題、単語テストの勉強に真剣に取り組むこと。 3) 課題(ワークブック)の提出期限を守ること。 4) 多読に真剣に取り組むこと。 1) 予習(プリントの単語やストーリーのチェック)をすること。 2) 単語テストの勉強をすること。 3) 練習問題を解くこと。				
注意点					
ポートフォリオ					

(学生記入欄)

【理解の度合】理解の度合について記入してください。
(記入例) ファラデーの法則、交流の発生についてはほぼ理解できたが、渦電流についてはあまり理解できなかった。
・前期中間試験まで：

・前期末試験まで：

・後期中間試験まで：

・学年末試験まで：

【試験の結果】定期試験の点数を記入し、試験全体の総評をしてください。
(記入例) ファラデーの法則に関する基礎問題はできたが、応用問題が解けず、理解不足だった。
・前期中間試験 点数： 総評：

・前期末試験 点数： 総評：

・後期中間試験 点数： 総評：

・学年末試験 点数： 総評：

【総合到達度】「到達目標」どおりに達成することができたかどうか、記入してください。
・総合評価の点数： 総評：

(教員記入欄)

【授業計画の説明】実施状況を記入してください。

【授業の実施状況】実施状況を記入してください。
・前期中間試験まで：

・前期末試験まで：

・後期中間試験まで：

・学年末試験まで：

【評価の実施状況】総合評価を出した後に記入してください。

授業の属性・履修上の区分				
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用	☐ 遠隔授業対応	☐ 実務経験のある教員による授業
英文多読				
授業計画				
		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	授業計画の説明	授業計画・達成目標・成績の評価方法等の説明を理解する。
		2週	L.3 Purposes of the Olympics	助動詞、受け身、助動詞のついた受け身を理解する。
		3週	L.3 Purposes of the Olympics	助動詞、受け身、助動詞のついた受け身を理解する。
		4週	L.3 Purposes of the Olympics	助動詞、受け身、助動詞のついた受け身を理解する。
		5週	L.4 Hospital Art	現在進行形、現在完了形、過去完了形を理解する。
		6週	L.4 Hospital Art	現在進行形、現在完了形、過去完了形を理解する。
		7週	L.4 Hospital Art	現在進行形、現在完了形、過去完了形を理解する。
		8週	英文多読	多読学習法を理解し、少しずつ読みやすさレベル (YL)を上げながら、辞書を使わずに英文読書を楽しむ。
	2ndQ	9週	前期中間試験	
		10週	試験答案の返却・解説、英文多読	試験で間違ったところを理解する。
		11週	L.6 Washoku —Traditional Japanese Dishes—	関係代名詞(主格)、関係代名詞(目的格)、関係代名詞 what、S+V+O1+O2(O2=how to ~)を理解する。
		12週	L.6 Washoku —Traditional Japanese Dishes—	関係代名詞(主格)、関係代名詞(目的格)、関係代名詞 what、S+V+O1+O2(O2=how to ~)を理解する。
		13週	L.6 Washoku —Traditional Japanese Dishes—	関係代名詞(主格)、関係代名詞(目的格)、関係代名詞 what、S+V+O1+O2(O2=how to ~)を理解する。
		14週	L.6 Washoku —Traditional Japanese Dishes—	関係代名詞(主格)、関係代名詞(目的格)、関係代名詞 what、S+V+O1+O2(O2=how to ~)を理解する。
		15週	英文多読	多読学習法を理解し、少しずつ読みやすさレベル (YL)を上げながら、辞書を使わずに英文読書を楽しむ。
		16週	試験答案の返却・解説、英文多読	試験で間違ったところを理解する。
後期	3rdQ	1週	L.7 From Landmines to Herbs	現在分詞の形容詞的用法、過去分詞の形容詞的用法、分詞構文①、分詞構文②を理解する。
		2週	L.7 From Landmines to Herbs	現在分詞の形容詞的用法、過去分詞の形容詞的用法、分詞構文①、分詞構文②を理解する。
		3週	L.7 From Landmines to Herbs	現在分詞の形容詞的用法、過去分詞の形容詞的用法、分詞構文①、分詞構文②を理解する。

		4週	L.7 From Landmines to Herbs	現在分詞の形容詞的用法、過去分詞の形容詞的用法、分詞構文①、分詞構文②を理解する。
		5週	L.8 A Mysterious Object from the Past	関係副詞where、関係副詞when、関係副詞why、It is ... that ～を理解する。
		6週	L.8 A Mysterious Object from the Past	関係副詞where、関係副詞when、関係副詞why、It is ... that ～を理解する。
		7週	L.8 A Mysterious Object from the Past	関係副詞where、関係副詞when、関係副詞why、It is ... that ～を理解する。
		8週	英文多読	多読学習法を理解し、少しずつ読みやすさレベル(YL)を上げながら、辞書を使わずに英文読書を楽しむ。
	4thQ	9週	後期中間試験	
		10週	試験答案の返却・解説、英文多読	試験で間違ったところを理解する。
		11週	L.8 A Mysterious Object from the Past	関係副詞where、関係副詞when、関係副詞why、It is ... that ～を理解する。
		12週	L.9 Sesame Street	条件を表すif節、仮定法過去、I wish ～、as if ～を理解する。
		13週	L.9 Sesame Street	条件を表すif節、仮定法過去、I wish ～、as if ～を理解する。
		14週	L.9 Sesame Street	条件を表すif節、仮定法過去、I wish ～、as if ～を理解する。
		15週	英文多読	多読学習法を理解し、少しずつ読みやすさレベル(YL)を上げながら、辞書を使わずに英文読書を楽しむ。
		16週	試験答案の返却・解説	試験で間違ったところを理解する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	1	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	1	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	1	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	1	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	1	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	1	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	1	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	1	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	1	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	1	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	1	

評価割合

	定期試験	小テスト	その他	合計
総合評価割合	75	10	15	100
知識の基本的な理解	75	10	15	100